



決意～新たなチャレンジ～

理事長 西田 良枝

障害を持つ子どもを育てる中で腹をくくる、決意をしなければならない瞬間は何度もありました。病に倒れた親を看取中でも。愛する娘や家族が、どのような状態であっても、自分らしくいきいきと生きてほしいという祈りのような願い。その願いをかなえることは、ひとりだけではできない。たくさんのさまざまな支え合い、人も、制度も、仕組みも...それらを持ち合わせた地域そのものが必要だとわかりました。

子育てを通じてできた地域の人たちとの出会いから、1982年「浦安共に歩む会」をつくり、8年間の活動を通じて同じ願いを持つ多くの仲間を得ました。さらに、自分たちも実践者として願いをかなえていこうとする仲間と共に、2001年NPO法人を設立し職員を迎え、5年間の活動を経て17の福祉事業を展開するまでになりました。迷うたびに、出発点である娘に問いかけ、自分に問いかけ、仲間問いかけ、いくつもの決意を積み重ねながら。

「やりたい人がやる」NPOは、裏を返せば「やりたくなくなったらおしまい」でもありました。もろく消えてしまうような地域福祉事業に、誰も愛する家族を託せるはずはありません。社会福祉法人になることは、例えやりたくなくなる瞬間があっても、仲間が疲れ果て去っていったとしても、本気で逃げずに腹をくくって地域福祉事業を展開していくのだ、という決意でもあります。それは、単にサービスを提供する事業を展開することではありません。

ひとりの願いをかなえることが、普遍的なみんなのものにつながっていく...共感を得、参画することがひとりひとりの願いの実現に通じていく...実践を通して理念を実現していく、意思と願いを持つ法人をつくっていくことだと思います。

誰もが地域の大切な「ひとり」であり仲間として、「いっしょに」「楽しく」生きることが出来る地域を目指して、新たなチャレンジに向けて「社会福祉法人パーソナル・アシスタンス とも」を設立いたします。

理事紹介

「理事会」は社会福祉法人の議決機関です。理事は学識経験者や地域の福祉関係者などで構成され、法人運営の全責任を負う役員です。理事の代表が理事長です。監査役として監事を置きます。

私にも老親が居ます。大変な時は自分で倒れるまで抱え込んでしまうのではなく、そうなる前に気軽に相談し、助けていただくことが当たり前で、介護する人もされる人も顔から笑顔が消えないで済む社会が理想です。そのために24時間365日その人に合わせた支援をします、と言う「とも」を応援したいと思っています。

医療法人社団調和会 理事
「浦安で公開討論会を開催する会」代表
小山 まさみ

このたび「とも」の理事を仰せつかった櫻井です。民生児童委員としてある方との係わりから「とも通信」を知り、早4年目になります。

日ごろから法人の理念と、西田理事長の確固たる信念と実行力には、敬服しております。社会福祉法人として再出発するこの会の更なる発展のため、ささやかなりともお手伝いが出来たら嬉しく存じます。

民生児童委員 櫻井 ちか江

9年前に「とも」の前身である「浦安共に歩む会」の勉強会に呼んでいただいた時には、そこから社会福祉法人が生まれ、その理事の一員になるなんて、夢にも思いませんでした。「自分のこと」として参加します。

埼玉県東松山市総合福祉エリア所長
曽根 直樹

13年前に思い描いた未来、その未来がどんどん近くなって今があります。

思い描いていた未来が現実のものになるように、そして一番大事にしなければいけないものを忘れないように、頑張っていきたいと思います。

パーソナル・アシスタンスとも
療育事業部部長 竹谷 弘美

この度「とも」の皆様の願いがかない社会福祉法人となりました事を心よりお祝い申し上げます。

わたくしも地域の皆様とふれ合いたいと、浦安市の「マザーズ」で、小児歯科医として活動しているご縁で「とも」の皆様ともお知り合いになりました。「とも」の皆様のエネルギーは素晴らしいです。

これからも人々の生活に根ざし、充実した活動が展開される事でしょう。ますますの発展を応援したいと思っています。

キャビネ・ラピヌ - 院長 牧口 哲英

保健医療の現場から「地域の中での個」を大切にする「とも」に飛び込んできた私ですが、社会福祉法人の「とも」で、地域福祉とは「ともに生きるまちづくり」である事を、その担い手となって広めて行きたい。

パーソナル・アシスタンスとも
経理企画部部长 森嶋 宏治

今までの活動の成果が、社会の一つの組織として迎え入れられたことを心から嬉しく思います。おめでとうございます。

「継続は力なり」の言葉どおり、どんな逆境であろうとも活動を断念することなく常に前進し続けた皆様には頭がさがります。今後もますます発展し、続けていくために尽力して行きたいと思います。

順天堂大学医療看護学部地域看護学講師
山口 忍

個人の实践から始まった、「浦安共に歩む会」がNPO法人を取得し、今回、社会福祉法人を設立され、その経緯を知る一人として心からお慶びを申し上げたいと思います。

個々人の熱い思いが人々を動かし、行政を動かし、ここに公共性のある法人となったことは、後に続く人々に大きな勇気を与えたと思います。これからの活躍に尽力して行きます。

大阪河崎リハビリテーション大学教授
大東地域リハビリテーション研究所長
山本 和儀

評議員会について

「評議員会」は、理事の2倍以上の定数によって構成され、理事会の議決内容にアドバイスしたりチェックする役割を果たします。「理事会」「評議員会」の2つの役員会によって、健全で透明性の高い法人運営が行われます。

評議員会 19 人を代表して、杉本誠三さんに期待を語っていただきました。

サミュエル・ウルマンの詩「青春」の一節に「優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春というのだ。」とある。

新たに社会福祉法人となった「とも」はこの詩にも則って、より大きくなった地域福祉を担う役割を果たすために、一層努力していかなければならないと思う。

前 浦安市社会福祉協議会会長 杉本 誠三

後援会設立のご案内

社会福祉法人「パーソナル・アシスタンス とも」を応援！
後援会「ともと歩む会」が出来ました！！

NPO法人のメンバーに、正会員や賛助会員、ボランティアや寄付などで「とも」を支えて下さった皆様から、社会福祉法人になると今までの組織とは違い、どんな形で「とも」に関わっていったらいいのか、どんな形で応援できるのかという、大変ありがたくうれしい質問を頂きました。実際私たちも多くの皆様の力に支えられここまで来たこと、そしてこれからも地域の中でより根付いた福祉サービスを提供していくためにも、今まで同様ご意見を聞かせていただいたり、協力しあいながら活動も展開していきたい思いは変わりませんでした。

この度、後援会「ともと歩む会」という形で応援していただけることになり、感謝の気持ちで一杯です。ぜひ、今までどおりのご支援、ご指導をよろしくお願い致します！！

＊後援会への入会やお問合せはホームページの「ともを応援する」のページをご覧ください。

スタッフよりひとこと

気持ちも新たに……常勤スタッフからメッセージです

事務スタッフより

いつかはケアもできる事務
スタッフになりたいです。
大串

私は自分の細かい所まで
よく気がつく性格が好きです。
山口

以前勤めていた職場が遠くへ移転
したため、今年2月一時ケアセンターの
事務に転職しました。 小堀

将来の夢は歌を歌うこと。
ベイマラソンで10キロ走
ることです。 杉田

北海道出身、趣味：無し。
好きな女性のタイプ
昔：森昌子、今：柴咲コウ。
西田（俊）

ヘルパーより

ヘルパーの大村ではなく
普通に付き合い協力できれば
と思います。 大村

利用者さんと町を歩く。
単純なことであるが、ともに生
きている確かな一歩。 宝

まだまだ新人です。
楽しく仕事していけたら
幸せです。 花坂

お菓子好き、利用者さんの
おやつと同じものを買って
帰るのが日課。 三竿

いつも利用者さんが笑顔で
いられる様なスタッフに
なりたい。 西村

今年も新人さんに若いパワー
をもらって若返りたいです。
和田

これから「とも」を
通じてスタッフ、
人間として成長し
ていきたいです。
関口

「とも」と一緒に成長していける
スタッフになりたいと思って入
りました。 金山

みんなが仲良く暮らせ
る地域を作りたい。
松坂

1日1日を大切にし
毎日楽しく笑顔でいたいと
思います。 百海

“ともに生きる”の理念を
聞き地域でのサポートが
したく入社しました。
黒田

一つ一つ、一步一步、かつ
大切なことは何かを常にもてる
ように…。 田尻

居心地がよかった、楽し
かったと思ってもらえる
ケアがしたいです
荒木

笑顔と思いやりを忘れずに
接しられるスタッフになり
たいです。 石田

広い視野を持ち柔軟に
考えることができる
スタッフになりたい。
前田

斎場売店スタッフ（就労支援）より

私の趣味は浦安市内の
散歩です！ 四季を感
じています。
金子

8年前からサッカーに
はまっています。楽しくて
感動的で最高です！
遠藤

<編集後記>広報誌もリニューアルいたしました。長い誌名ですが、「いっしょに生きる
楽しく生きる」よろしくお願ひいたします。